

令和 7 年度

第 2 回 恵庭市地域公共交通活性化協議会

日時：令和 7 年 6 月 3 0 日（月）

1 5 時 0 0 分～

場所：市民会館 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議題

報告 第 1 号 令和 6 年度歳入歳出決算報告

報告 第 2 号 令和 6 年度監査報告

報告 第 3 号 令和 6 ・ 7 年度の利用状況（エコバス・エコタク）

報告 第 4 号 新規路線バス停位置の決定について（恵み野西 6 丁目）

報告 第 5 号 エコバス乗継対象停留所の追加について

報告 第 6 号 エコバス定期券の対象者拡大について

議案 第 1 号 令和 7 年度事業計画（案）

議案 第 2 号 令和 7 年度歳入歳出予算（案）

議案 第 3 号 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

議案 第 4 号 バスマップ（時刻表・路線図）の作成について

4. その他

5. 閉会

令和 6 年度 歳入歳出決算報告

【歳入】 (単位：円)

科 目	令和 6 年度予算	令和 6 年度決算	比 較	備 考
事業収入	10, 871, 400	11, 577, 370	705, 970	定期券売上収入・サイネージ広告料
負担金	114, 633, 004	108, 190, 563	▲6, 442, 441	エコバス・エコタク運行委託料等
補助金	2, 657, 000	0	▲2, 657, 000	フィーダー補助
繰越金	936	936	0	前年度からの繰越金
諸収入	0	3, 533	3, 533	預金利息
合計	128, 162, 340	119, 772, 402	▲8, 389, 938	

【歳出】 (単位：円)

科 目	令和 6 年度予算	令和 6 年度決算	比 較	備 考
運営費	0	0	0	
事業費	128, 161, 404	119, 767, 933	▲8, 393, 471	【運行事業費】 ○エコバス定期券売上代金・広告料配分 11, 577, 370円 ○エコバス・エコタク運行委託 108, 093, 683円 エコバス（冬期便含む） 93, 037, 983円 エコタク 15, 055, 700円 ○契約に係る印紙・銀行振込手数料 96, 880円
予備費	936	0	▲936	
合計	128, 162, 340	119, 767, 933	▲8, 394, 407	

歳入

歳出

残高

119, 772, 402 − 119, 767, 933 = 4, 469 円（次年度へ繰り越し）

エコバス定期券 販売内訳

令和6年度集計

①協議会口座受領分(事務局で集約し、運行バス会社へ配分)

区分		金額	件数	大人	学生	障がい	高齢	小学生
ウェルネット(株)	バスもり	8,345,880	1096	437	581	68	10	0
	払戻額	204,100						
	差引額	8,141,780	(小計-払戻額)					
	手数料	446,980						
	計	7,694,800	(差引額-手数料)					

区分		金額	件数	大人	学生	障がい	高齢	小学生
市窓口分(生活環境課)		3,821,610	405	138	56	78	122	11
	健康増進助成券	5,000	※高齢者健康増進助成券事業(介護福祉課)					
	払戻額	102,440						
	計	3,724,170						

①合計	11,418,970	1,501	575	637	146	132	11
-----	------------	-------	-----	-----	-----	-----	----

②運行バス会社で直接販売(バス会社の運行収入の一部となる)

区分		金額	件数	大人	学生	障がい	高齢	小学生
富士交通(株)販売分		2,849,310	294	143	79	49	23	0
	払戻額	37,180						
②合計		2,812,130						

①②合計	14,231,100	1,795	718	716	195	155	11
------	------------	-------	-----	-----	-----	-----	----

令和6年度「えにわコミュニティバス」運行委託契約額精算内訳書(単位:円)

A～F車

路線名	①実収入	②当初収入見込	③差額(①－②)	④フィーダー実績額	⑤フィーダー当初予定額	⑥差額(④－⑤)	⑦当初委託料	⑧差額計(③+⑥)	精算後委託料(⑦－⑧)
A～F車 (富士交通㈱)	64,381,000	60,198,000	4,183,000	3,025,000	2,657,000	368,000	95,814,273	4,551,000	91,263,273
合計	64,381,000	60,198,000	4,183,000	3,025,000	2,657,000	368,000	95,814,273	4,551,000	91,263,273

冬期便

路線名	①実収入	②当初収入見込	③差額(①－②)	④フィーダー実績額	⑤フィーダー当初予定額	⑥差額(④－⑤)	⑦当初委託料	⑧差額計(③+⑥)	精算後委託料(⑦－⑧)
南高直行便 (富士交通㈱)	295,050	510,000	-214,950	0	0	0	1,559,760	-214,950	1,774,710

令和6年度「えにわコミュニティバスA～F車・冬期便」運行委託契約額精算内訳

路線名	①実収入	②当初収入見込	③差額(①－②)	④フィーダー実績額	⑤フィーダー当初予定額	⑥差額(④－⑤)	⑦当初委託料	⑧差額計(③+⑥)	精算後委託料(⑦－⑧)
全車合計	64,676,050	60,708,000	3,968,050	3,025,000	2,657,000	368,000	97,374,033	4,336,050	93,037,983

令和6年度「乗合タクシー」運行委託契約額精算内訳

令和5年4月～令和6年3月分

路線名	①実収入	②当初収入見込	③差額(①－②)	④フィーダー実績額	⑤フィーダー当初予定額	⑥差額(④－⑤)	⑦当初委託料	⑧差額計(③+⑥)	精算後委託料(⑦－⑧)
乗合タクシー (富士交通㈱)	1,781,300	1,745,000	36,300	0	0	0	15,092,000	36,300	15,055,700

令和6年度市内公共交通事業費

路線名	①実収入	②当初収入見込	③差額(①－②)	④フィーダー実績額	⑤フィーダー当初予定額	⑥差額(④－⑤)	⑦当初委託料	⑧差額計(③+⑥)	精算後委託料(⑦－⑧)
市内公共交通事業費 (エコバス・乗合タクシー)	66,457,350	62,453,000	4,004,350	3,025,000	2,657,000	368,000	112,466,033	4,372,350	108,093,683

監 査 報 告

令和6年度恵庭市地域公共交通活性化協議会会計について監査を行い、歳入歳出簿及び収入・支出に関する証拠書類の検査と内容の審査を実施したところ、経理事務は適正かつ正確に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。

令和7年6月3日

恵庭市地域公共交通活性化協議会会長 様

恵庭市地域公共交通活性化協議会

監査

坂口 正博 

監 査 報 告

令和6年度恵庭市地域公共交通活性化協議会会計について監査を行い、歳入歳出簿及び収入・支出に関する証拠書類の検査と内容の審査を実施したところ、経理事務は適正かつ正確に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。

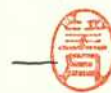
令和7年6月3日

恵庭市地域公共交通活性化協議会会長 様

恵庭市地域公共交通活性化協議会

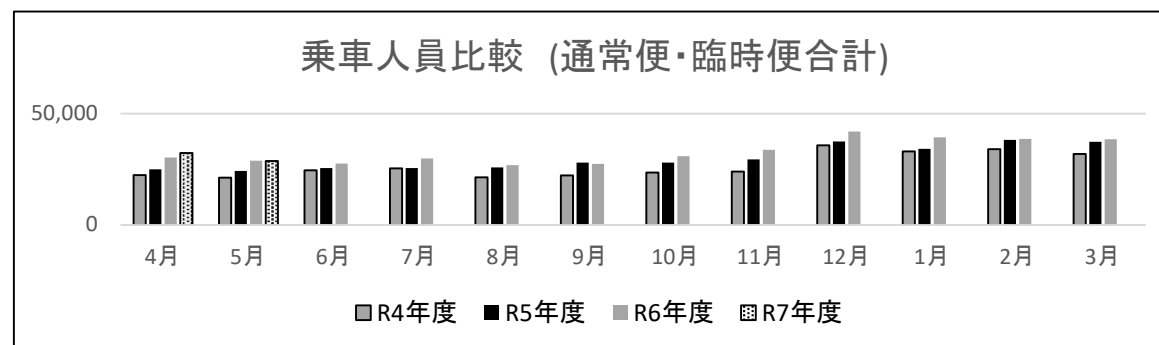
監査

望月 伸一



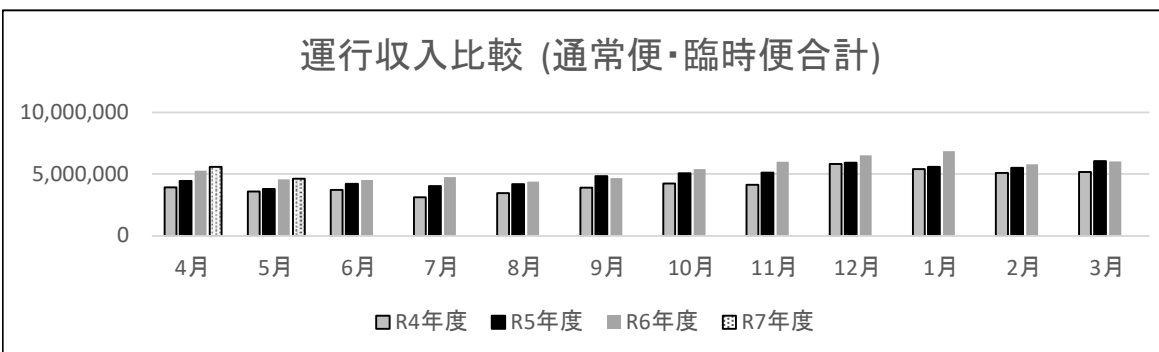
報告第3号 令和6・7年度の利用状況(エコバス・エコタク)

令和6・7年度 エコバス利用状況



乗車人員(全車合計)

年度 月	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年比 (R5-R6)	前々年比 (R4-R6)
4月	22,227	24,819	30,165	32,231	121.5%	135.7%
5月	21,102	24,181	28,826	28,628	119.2%	136.6%
6月	24,399	25,454	27,530		108.2%	112.8%
7月	25,312	25,529	29,757		116.6%	117.6%
8月	21,243	25,718	26,695		103.8%	125.7%
9月	22,149	27,887	27,333		98.0%	123.4%
上半期	136,432	153,588	170,306	60,859	110.9%	124.8%
10月	23,395	27,914	30,838		110.5%	131.8%
11月	23,920	29,312	33,713		115.0%	140.9%
12月	35,699	37,458	41,828		111.7%	117.2%
1月	33,001	34,028	39,323		115.6%	119.2%
2月	34,008	38,065	38,609		101.4%	113.5%
3月	31,799	37,236	38,431		103.2%	120.9%
下半期	181,822	204,013	222,742	0	109.2%	122.5%
合計	318,254	357,601	393,048	60,859	109.9%	123.5%



運行収入(全車合計)

定期券代含む

年度 月	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年比 (R5-R6)	前々年比 (R4-R6)
4月	3,908,717	4,431,126	5,263,292	5,586,688	118.8%	134.7%
5月	3,567,417	3,797,184	4,558,691	4,612,760	120.1%	127.8%
6月	3,704,975	4,189,793	4,501,487		107.4%	121.5%
7月	3,107,962	4,026,543	4,755,077		118.1%	153.0%
8月	3,462,554	4,183,967	4,385,890		104.8%	126.7%
9月	3,891,128	4,814,490	4,672,451		97.0%	120.1%
上半期	21,642,753	25,443,103	28,136,888	10,199,448	110.6%	130.0%
10月	4,234,108	5,069,230	5,386,538		106.3%	127.2%
11月	4,127,451	5,109,392	5,985,242		117.1%	145.0%
12月	5,799,425	5,907,802	6,515,467		110.3%	112.3%
1月	5,395,918	5,568,272	6,846,013		122.9%	126.9%
2月	5,080,210	5,501,681	5,778,169		105.0%	113.7%
3月	5,155,600	6,054,051	6,027,733		99.6%	116.9%
上半期	29,792,712	33,210,428	36,539,162	0	110.0%	122.6%
合計	51,435,465	58,653,531	64,676,050	10,199,448	110.3%	125.7%

令和6年度 エコバス利用状況

	利用者数				現金・回数券販売額 (現金・回数券・定期券・広告収入)	定期販売額 (上:手数料差引前、下:手数料差引後)	定期券販売内訳			臨時便定期券利用割合	広告収入
	区分	日数	人数	内 定期券利用							
4月	平日	21	25,457	6,481	3,949,400 (5,263,292)	1,332,360 1,300,692	ウエルネット	576,002	962,562		13,200
	土日祝日	9	4,708	763			市窓口	386,560			
	計	30	30,165	7,244			富士交通	338,130			
5月	平日	21	24,112	5,979	3,705,750 (4,558,691)	863,860 839,741	ウエルネット	404,231	613,481		13,200
	土日祝日	10	4,714	738			市窓口	209,250			
	計	31	28,826	6,717			富士交通	226,260			
6月	平日	20	22,489	5,333	3,641,450 (4,501,487)	869,660 846,837	ウエルネット	345,187	589,377		13,200
	土日祝日	10	5,041	766			市窓口	244,190			
	計	30	27,530	6,099			富士交通	257,460			
7月	平日	22	24,817	5,613	3,898,200 (4,755,077)	871,840 843,677	ウエルネット	432,827	716,177		13,200
	土日祝日	9	4,940	781			市窓口	283,350			
	計	31	29,757	6,394			富士交通	127,500			
8月	平日	21	21,530	4,580	3,652,200 (4,385,890)	747,980 720,490	ウエルネット	430,110	585,130		13,200
	土日祝日	10	5,165	792			市窓口	155,020			
	計	31	26,695	5,372			富士交通	135,360			
9月	平日	19	21,540	5,214	3,557,000 (4,672,451)	1,130,940 1,102,251	ウエルネット	472,671	853,271		13,200
	土日祝日	11	5,793	890			市窓口	380,600			
	計	30	27,333	6,104			富士交通	248,980			
10月	平日	22	26,147	6,436	3,965,450 (5,386,538)	1,440,510 1,407,888	ウエルネット	556,668	1,043,898		13,200
	土日祝日	9	4,691	712			市窓口	487,230			
	計	31	30,838	7,148			富士交通	363,990			
11月	平日	20	28,288	7,333	4,267,350 (5,985,242)	1,765,160 1,704,692	ウエルネット	1,105,302	1,444,712		13,200
	土日祝日	10	5,425	1,042			市窓口	339,410			
	計	30	33,713	8,375			富士交通	259,980			
12月	平日	21	34,738	10,161	5,197,350 (6,515,467)	1,347,730 1,304,917	ウエルネット	777,867	1,073,987	623人	13,200
	土日祝日	10	7,090	1,429			市窓口	296,120		5.38%	
	計	31	41,828	11,590			富士交通	230,930			
1月	平日	19	31,542	8,832	5,035,800 (6,846,013)	1,859,560 1,797,013	ウエルネット	1,208,043	1,585,373	362人	13,200
	土日祝日	12	7,781	1,735			市窓口	377,330		3.43%	
	計	31	39,323	10,567			富士交通	211,640			
2月	平日	18	31,008	9,591	4,639,150 (5,778,169)	1,171,720 1,125,819	ウエルネット	818,279	996,219	574人	13,200
	土日祝日	10	7,601	1,825			市窓口	177,940		5.03%	
	計	28	38,609	11,416			富士交通	129,600			
3月	平日	20	30,481	8,575	4,777,450 (6,027,733)	1,271,760 1,237,083	ウエルネット	567,613	954,783	317人	13,200
	土日祝日	11	7,950	1,930			市窓口	387,170		3.02%	
	計	31	38,431	10,505			富士交通	282,300			
合計	平日	244	322,149	84,128	50,286,550 109.6% (64,676,050) 122.3%	14,673,080 14,231,100 114.8%	ウエルネット	7,694,800	11,418,970	1,876人	158,400
	土日祝日	121	70,899	13,403			市窓口	3,724,170		1.92%	
	計	365	393,048	97,531			富士交通	2,812,130			
							合計	14,231,100			

※定期券販売額上段は
手数料差引前の額

令和6・7年度 エコバス定期券販売件数

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	69	47	45	51	45	61	68	63	58	74	67	70	718
障がい	16	11	12	20	13	11	16	21	18	23	17	17	195
学生	46	39	28	20	34	30	41	139	82	132	79	46	716
65歳以上	9	12	12	9	9	8	15	16	17	17	18	13	155
小学生	1	2	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
合計	141	111	97	101	102	111	141	240	175	247	182	147	1,795

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	68	50											118
障がい	16	12											28
学生	49	23											72
65歳以上	11	20											31
小学生	1	1											2
合計	145	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	251

【購入場所別】

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	41	28	22	29	24	30	45	44	31	47	33	31	405
富士交通	28	25	26	20	18	22	26	25	28	31	19	26	294
スマートフォン	72	58	49	52	60	59	70	171	116	169	130	90	1,096
合計	141	111	97	101	102	111	141	240	175	247	182	147	1,795

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	37	33											70
富士交通	22	18											40
スマートフォン	86	55											141
合計	145	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	251

令和6・7年度 エコバス乗り継ぎ券 回収枚数

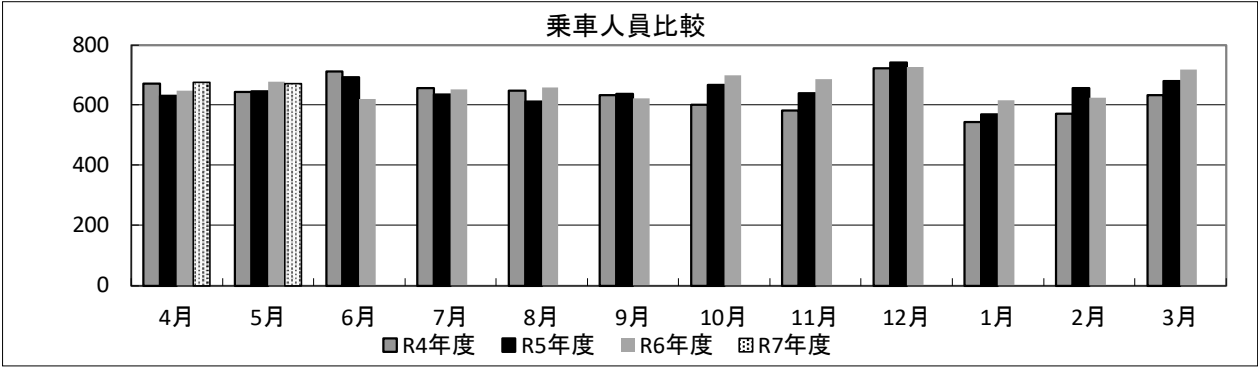
【令和6年度】

	富士交通						全車合計
	A車	B車	C車	D車	E車	F車	
4月	31	26	20	56	35	44	212
5月	31	28	16	62	42	43	222
6月	22	24	21	60	64	42	233
7月	34	34	28	65	47	61	269
8月	30	29	23	55	38	39	214
9月	22	21	27	57	41	46	214
10月	24	23	27	49	66	45	234
11月	30	33	21	60	37	55	236
12月	21	31	21	91	49	79	292
1月	26	26	13	77	70	64	276
2月	27	35	22	56	55	72	267
3月	29	27	20	57	77	64	274
	327	337	259	745	621	654	2,943

【令和7年度】

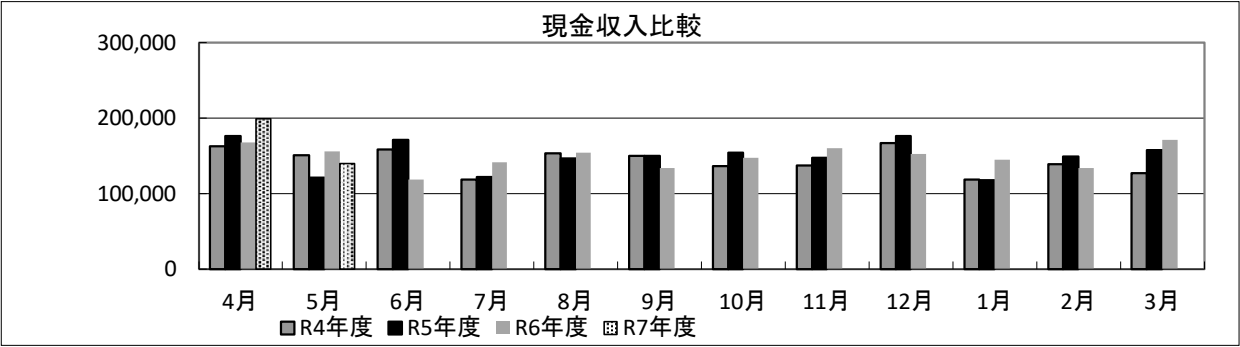
	富士交通						全車合計
	A車	B車	C車	D車	E車	F車	
4月	31	24	34	56	41	49	235
5月	29	34	12	68	67	60	270
6月							0
7月							0
8月							0
9月							0
10月							0
11月							0
12月							0
1月							0
2月							0
3月							0
	60	58	46	124	108	109	505

令和6・7年度 エコタク利用状況



乗車人員

年度 月	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年比 (R5-R6)	前々年比 (R4-R6)
4月	671	631	648	676	102.7%	96.6%
5月	644	646	677	671	104.8%	105.1%
6月	712	692	620		89.6%	87.1%
7月	656	635	653		102.8%	99.5%
8月	647	611	658		107.7%	101.7%
9月	634	638	623		97.6%	98.3%
上半期	3,964	3,853	3,879	1,347	100.7%	97.9%
10月	602	668	699		104.6%	116.1%
11月	581	640	687		107.3%	118.2%
12月	723	742	727		98.0%	100.6%
1月	543	570	616		108.1%	113.4%
2月	572	656	625		95.3%	109.3%
3月	633	679	718		105.7%	113.4%
下半期	3,654	3,955	4,072	0	103.0%	111.4%
合計	7,618	7,808	7,951	1,347	101.8%	104.4%



現金収入

年度 月	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年比 (R5-R6)	前々年比 (R4-R6)
4月	162,500	176,000	168,150	199,050	95.5%	103.5%
5月	150,750	121,250	155,550	139,600	128.3%	103.2%
6月	158,250	170,800	118,300		69.3%	74.8%
7月	118,900	121,700	141,250		116.1%	118.8%
8月	153,000	146,750	154,400		105.2%	100.9%
9月	149,800	150,050	133,800		89.2%	89.3%
上半期	893,200	886,550	871,450	338,650	98.3%	97.6%
10月	136,150	153,900	147,450		95.8%	108.3%
11月	137,350	147,700	160,050		108.4%	116.5%
12月	167,300	175,900	152,650		86.8%	91.2%
1月	118,950	117,500	144,650		123.1%	121.6%
2月	138,850	149,350	133,650		89.5%	96.3%
3月	127,050	157,500	171,400		108.8%	134.9%
下半期	825,650	901,850	909,850	0	100.9%	110.2%
合計	1,718,850	1,788,400	1,781,300	338,650	99.6%	103.6%

令和6年度コミュニティタクシー 利用状況報告書

受託者:富士交通株式会社

区分 月	乗車人数						回数券					現金収入額 (円)
	一般(人)		身障(人)		幼児	合計	回収枚数(枚)			販売冊数(冊)		
	大人	小人	大人	小人			100円	(内青色)	50円	100円券	50円券	
4月	492		156			648	1,400	1	217	134	28	168,150
5月	539		138			677	1,482		173	125	10	155,550
6月	493		127			620	1,374		185	94	8	118,300
7月	499		154			653	1,395		221	111	16	141,250
8月	502		156			658	1,400	1	242	123	19	154,400
9月	464		159			623	1,356	5	283	107	27	133,800
10月	527	1	171			699	1,529		331	122	22	147,450
11月	539		148			687	1,553	3	291	131	30	160,050
12月	551		176			727	1,623		315	125	28	152,650
1月	490		126			616	1,450		265	122	30	144,650
2月	491		134			625	1,446		233	115	15	133,650
3月	558		160			718	1,641		338	148	26	171,400
合計	6,145	1	1,805	0	0	7,951	17,649	10	3,094	1,457	259	1,781,300

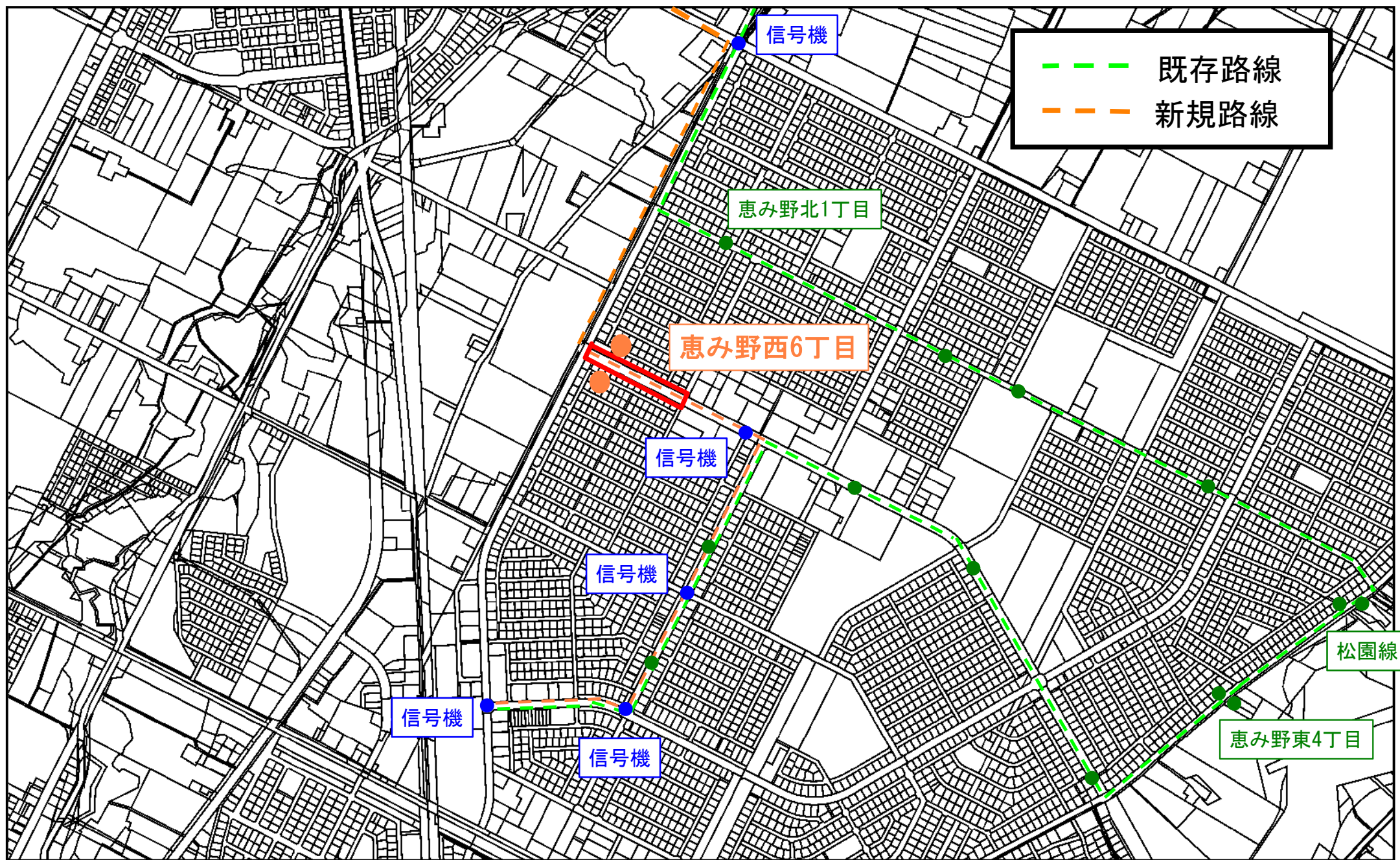
上記の通り、相違ありません。

2025年4月1日
恵庭市住吉町2丁目1番3号
富士交通株式会社
代表取締役 小清水 行彦

報告 第4号

令和7年9月1日～





この図面は位置的なものを示すものであり権利関係
には使用できません。

報告 第5号 エコバス乗継対象停留所の追加について

1 現在の状況について

現在のエコバス既存路線は、当日に限り、恵み野駅東口⇔恵み野駅西口で乗継ぎすることができますが、新規路線の試験運行開始に伴い、既存路線と新規路線の乗継ぎを当日に限りJR恵庭駅、JR恵み野駅、JR島松駅でできるように進めていく。

【現行の乗継】

既存路線	乗継	既存路線
JR 恵み野駅東口	⇔	JR 恵み野駅西口

2 アンケートの実施結果

別添1のとおり

【現行に加え新たな乗継】

既存路線	乗継	新規路線
JR 島松駅	⇔	JR 島松駅
JR 恵み野駅東口/西口	⇔	JR 恵み野駅東口
JR 恵庭駅東口/西口	⇔	JR 恵庭駅西口

3 変更時期について

エコバス既存路線のダイヤ改正や新規路線の試験運行を実施する令和7年9月1日から変更します。

報告 第6号 エコバス定期券の対象者拡大について

1 現在の状況について

エコバス定期券については（表1）のとおり設定しております。65歳以上、高校生・中学生、小学生以下は大人よりも安い料金で設定しておりますが、大学や専門学校などの高等教育機関に通学する生徒は大人料金となっております。

（表1）

区分	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月
大人	6,000 円	11,400 円	16,200 円	28,800 円
	(3,000 円)	(5,700 円)	(8,100 円)	(14,400 円)
65 歳以上	4,200 円	7,980 円	11,970 円	22,680 円
	(2,100 円)	(3,990 円)	(5,990 円)	(11,340 円)
高校生・中学生	4,200 円	7,980 円	11,970 円	22,680 円
	(2,100 円)	(3,990 円)	(5,990 円)	(11,340 円)
小学生以下	3,000 円	5,700 円	8,100 円	14,400 円
	(1,500 円)	(2,850 円)	(4,050 円)	(7,200 円)

（ ）…身体障害者手帳等を携帯している方、障がいの程度が身体第1種、療育A判定、精神1,2級の方に付き添う方。

2 アンケートの実施結果

別添 1 のとおり

(表2)

区分	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月
大人	6,000 円	11,400 円	16,200 円	28,800 円
	(3,000 円)	(5,700 円)	(8,100 円)	(14,400 円)
65 歳以上	4,200 円	7,980 円	11,970 円	22,680 円
	(2,100 円)	(3,990 円)	(5,990 円)	(11,340 円)
通学生	4,200 円	7,980 円	11,970 円	22,680 円
	(2,100 円)	(3,990 円)	(5,990 円)	(11,340 円)
小学生以下	3,000 円	5,700 円	8,100 円	14,400 円
	(1,500 円)	(2,850 円)	(4,050 円)	(7,200 円)

()…身体障害者手帳等を携帯している方、障がいの程度が身体第 1 種、療育 A 判定、精神 1,2 級の方に付き添う方。

3 変更時期について

エコバス既存路線のダイヤ改正や新規路線の試験運行を実施する令和7年9月1日から変更します。

議案 第1号 令和7年度事業計画（案）

	協議会 開催予定	協議会の検討内容等	エコバス運行		エコタク運行	
令和7年 6月	協議会	・R6 決算及び監査報告 ・R7 予算(案)及び事業計画(案) など	運行		運行	
7月						
8月						
9月		・<u>既存路線のダイヤ改正</u> ・<u>新規路線の試験運行開始</u>				
10月	協議会	・臨時便の検討 ・新規路線の試験運行など				
11月						
12月			必要に応じて 修正		必要に応じて 修正	
令和8年 1月	協議会	・次年度エコバス、エコタク運行委託会社 見積合わせ ・新規路線の試験運行など				
2月						
3月						
4月						

議案 第2号

令和7年度 歳入歳出予算（案）

【歳入】

（単位：円）

科 目	令和7年度予算	令和6年度予算	令和6年度決算	比 較 (7年度予算-6年度予算)	備 考
事業収入	12,368,091	10,871,400	11,577,370	1,496,691	定期券売上収入・サイネージ広告料
負担金	167,354,546	114,633,004	108,190,563	52,721,542	エコバス・エコタク運行委託料等
補助金	0	2,657,000	0	▲2,657,000	フィーダー補助
繰越金	4,469	936	936	3,533	前年度からの繰越金
諸収入	0	0	3,533	0	預金利息
合計	179,727,106	128,162,340	119,772,402	51,564,766	

【歳出】

（単位：円）

科 目	令和7年度予算	令和6年度予算	令和6年度決算	比 較 (7年度予算-6年度予算)	備 考
運営費	0	0	0	0	
事業費	179,722,637	128,161,404	119,767,933	51,561,233	【運行事業費】 ○エコバス定期券売上代金・広告料配分 ○エコバス・エコタク運行委託（冬期便含む） ○契約に係る印紙・銀行振込手数料
予備費	4,469	936	0	3,533	
合計	179,727,106	128,162,340	119,767,933	51,564,766	

議案第3号 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

令和7年6月30日

（名称）恵庭市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

1-1 恵庭市における地域公共交通の現状

「恵庭市の公共交通の概況」

恵庭市は、国道36号・北海道横断自動車道・北海道縦貫自動車道・JR千歳線等の陸上交通が交差し、JRを利用した場合、最短で札幌に25分、新千歳空港に13分でアクセスが可能であり、1時間圏内には苫小牧港を擁する交通環境にある。

市内の主な公共交通機関としては、市内に4駅を構える、札幌と新千歳空港を結ぶ「JR千歳線（鉄道）」、札幌市と千歳市を結ぶ都市間輸送民間バス路線の「中央バス千歳線」、市内市街地を円循環運行しているコミュニティバス「えにわコミュニティバス（以下、エコバス）」、エコバスが運行していない郊外地域を乗合デマンド制で運行する「えにわコミュニティタクシー（以下、エコタク）」の4つがある。

「エコバス」については、平成13年策定「循環バス運行基本方針」をもとに、市内市街地で運行していた民間バス路線を補完し、市民に親しまれるコミュニティバスとして平成14年11月に運行を開始した。

平成22年12月までは民間1路線と、エコバス3コースの合計4路線が運行していた（図1）が、民間バス路線の撤退などから、平成22年12月より市街地全体を循環するバス路線の再編の実証運行（図2）を行ない、平成24年度から本格運行を開始した。平成27年10月からはJR恵み野駅西口及び、恵み野里美地区の開発に伴い、エコバス路線を延長し移動手段を確保した。（図3）

平成27年度には、公共交通利用促進調査事業を実施し、①運行頻度・本数が少ない②目的地まで時間がかかる③路線がわかりにくい、以上3点の運行課題が明確となったことから、平成28年度に恵庭市地域公共交通総合連携計画を策定し、これら3つの運行課題の解消を目指した路線・ダイヤ再編を平成29年度に実施した。

平成30年4月からの実証運行（図4）、平成31年4月からは本格運行を開始し、環境基準に適合した低床バスを導入するなど、環境やバリアフリーにも配慮した生活交通ネットワークの構築を目指している。

令和2年11月11日に市内の観光施設の拠点として「はなふる」がオープンし、令和3年4月1日から停留所を増設し対応している。

また、停留所番号57「後藤歯科医院」の前にあった後藤歯科医院の閉院に伴い、令和4年4月から同停留所の名称を「柏陽町4丁目」とする変更を行った。（図5）

(図1) 平成14年11月運行開始当初路線図



(図2) 平成22年12月以降の路線図



(図3) 平成27年10月以降の市内路線図



(図4) 平成30年4月以降の市内路線図



(図5) 令和3年4月以降の市内路線図



(R7. 4. 1現在)

1-2 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

恵庭市の公共交通は、札幌市と千歳市を結ぶＪＲ千歳線と中央バス路線及び、市内を循環するエコバス路線である。これらの路線は、市内外における通勤・通学・買い物・通院等、生活に欠かせないものとなっている。（図 6、図 7）

恵庭市内を目的とした移動については、現在恵庭市が進めている、ＪＲ駅を中心としたコンパクトシティ構想を踏まえ、市内の主な施設までの移動手段としてエコバスが利用されている。

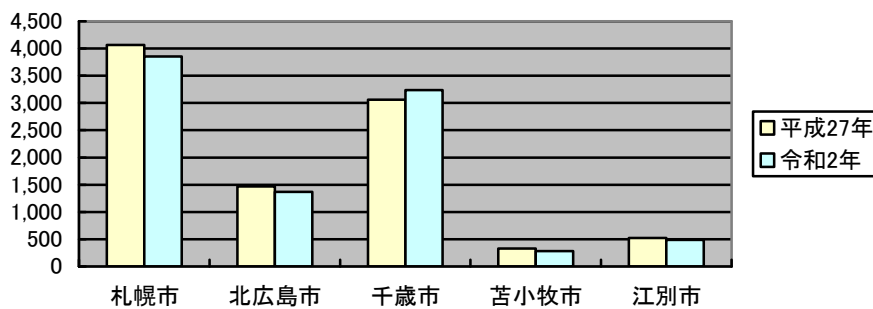
また、恵庭市外を目的とする移動については、ＪＲ駅や中央バスのバス停での乗換えのため移動手段としてエコバスが利用されている（図 8）。

よって、エコバス路線は市内移動及び、地域間交通に接続するフィーダー系統機能として重要な役割を果たしていることから確保維持することが必要である。また、フィーダー系統と地域間幹線系統との運賃の差に対し指摘もあるが、利用者には学生や高齢者が多く、「市民の足」としての利用のためにも金額の改定には慎重な協議を必要とする。

（図6） 恵庭市の通勤・通学の隣接都市との流動状況

常住市町村別恵庭市への流入人口（各年 10 月 1 日現在）

※15 歳未満を除く

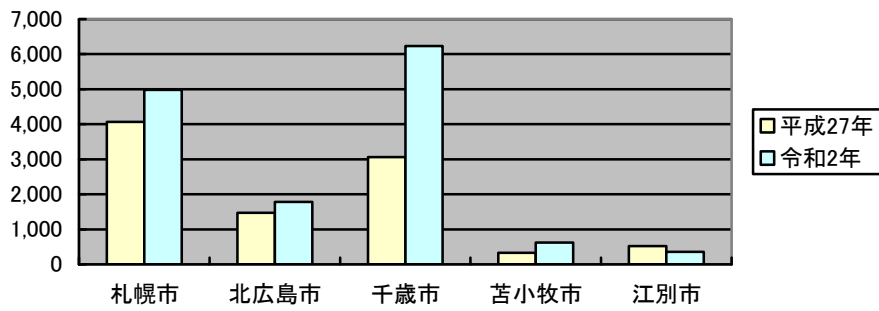


市町村	H27年	R2年			H27～R2年		R2年割合（％）		
		総数	通勤者	通学者	増加数	増加率（％）	総数	通勤者	通学者
札幌市	4,066	3,855	3,154	701	-211	-5.2	100.0	81.8	18.2
北広島市	1,468	1,369	1,200	169	-99	-6.7	100.0	87.7	12.3
千歳市	3,058	3,236	2,734	502	178	5.8	100.0	84.5	15.5
苫小牧市	329	282	175	107	-47	-14.3	100.0	62.1	37.9
江別市	525	488	428	60	-37	-7.0	100.0	87.7	12.3

資料：総務省統計局 R2 国勢調査

従業・通学市町村別恵庭市からの流出入口（各年 10 月 1 日現在）

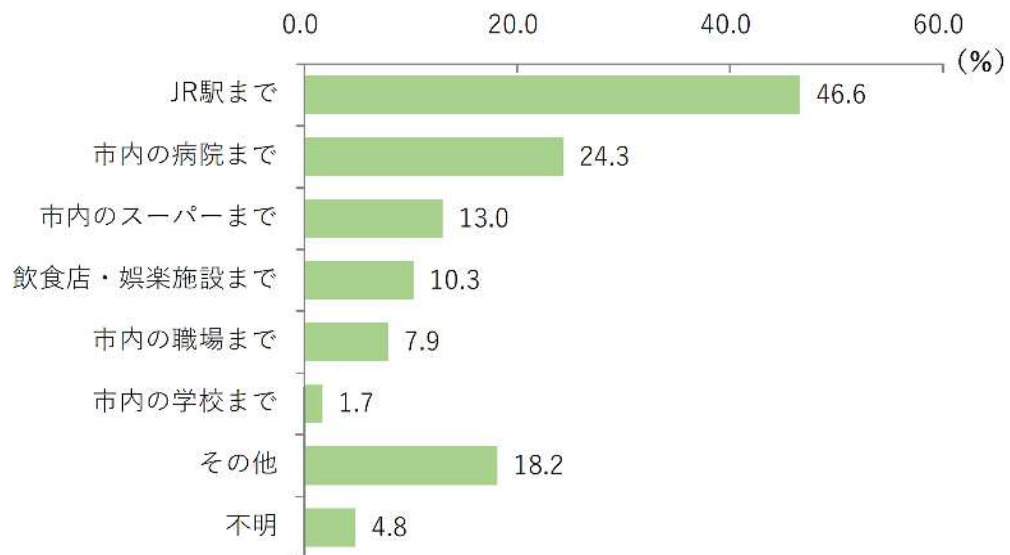
※15 歳未満を除く



市町村	H27年	R2年			H27～R2年		R2年割合（％）		
		総数	通勤者	通学者	増加数	増加率（％）	総数	通勤者	通学者
札幌市	4,897	4,981	4,087	894	84	1.7	100.0	82.1	17.9
北広島市	1,482	1,780	1,559	221	298	20.1	100.0	87.6	12.4
千歳市	5,893	6,236	5,918	318	343	5.8	100.0	94.9	5.1
苫小牧市	613	622	555	67	9	1.5	100.0	89.2	10.8
江別市	355	360	252	108	5	1.4	100.0	70.0	30.0

資料：総務省統計局 R2 国勢調査

（図7）エコバス利用の主な用途



資料：令和4年度恵庭市地域公共交通計画基礎調査

(図8) エコバス停留所別利用者数上位順

順位	バス停名	乗降者数	地域間交通との関係
1	JR 恵庭駅西口	941	
2	JR 恵み野駅西口	849	
3	JR 恵み野駅東口	836	
4	JR 恵庭駅東口	757	
5	恵庭南高校	507	
6	JR 島松駅	393	
7	恵み野東 7 丁目	382	
8	黄金南 6 丁目	286	
9	市役所・市民会館	262	
10	豊栄神社・かしわのもり	261	
11	図書館	258	
12	ビッグハウス	230	
13	黄金ふれあいセンター	212	
14	北恵庭駐屯地	199	
15	セイコーマート文京店	190	
16	恵庭北高校	188	
17	香華殿前	162	
18	川沿大通	153	
19	フレスポ恵み野	151	
20	恵み野病院	145	
21	消防署南出張所	137	
22	泉町	132	
23	柏陽町 3 丁目	126	
24	恵み野南 1 丁目	125	
25	緑町・えにあす	120	
26	有明町 2 丁目	116	
27	ラルズマート島松店	114	
28	恵庭シティホール	111	
29	前島歯科医院	110	
30	後藤歯科医院	108	

資料：2022年2月1日（火）～7日（月）の乗降人数合計

（恵庭市市民生活課令和3年度OD調査）

※令和4年度については恵庭市地域公共交通計画基礎調査内で実施

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

表1のとおり、エコバス利用者数の増加をめざす。

表1 エコバス全体の目標（フィーダー系統以外も含む）

	年度	
現状	令和6年度（令和5年10月～令和6年9月）	374,319人
目標	最終目標（恵庭市地域公共交通計画）	400,000人

また、上記を達成するため、対象となっている系統の利用者数を表2のとおり設定する。

表2 フィーダー系統の目標

	系統名	利用者数
現状 令和6年度 (令和5年10月～令和6年9月)	JR 島松駅（JR 恵庭駅東口）JR 島松駅 ※Aコース	177,713人
	JR 島松駅（JR 恵庭駅西口）JR 島松駅 ※Bコース	167,791人
目標 令和8年度 (令和7年10月～令和8年9月)	JR 島松駅（JR 恵庭駅東口）JR 島松駅 ※Aコース	185,371人
	JR 島松駅（JR 恵庭駅西口）JR 島松駅 ※Bコース	170,923人

利用者のニーズを踏まえた適切な運行の実施と、利用者層拡大に向けた活動が必要である。

(2) 事業の効果

- ・ JR駅を中心とした集約型都市構造を構築する。
- ・ エコバス路線沿線の交通弱者の移動手段の確保につながる。
- ・ 外出機会の創出を図り、周辺の賑わい創出や消費活動を促す経済的效果が期待できる。
- ・ 自家用車利用から公共交通利用の転換で CO2 排出抑制等、環境保全が図られる。
- ・ 自家用車利用から公共交通利用の転換で交通事故が抑止される。
- ・ エコバス利用者数の増加による収入の増加により市の財政負担が軽減される。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

3-1 目標を達成するために行う事業

・ バスマップの作成

時刻表、ルート図が一体となったバスマップを作成し、JR各駅、公共施設などで配布する。

・ 利用方法、乗継券、運行情報の周知活動

市内外の利用客に対しポスターや市フェイスブック、広報、市ホームページ、地域FMラジオ局などを用いて公共交通に関する情報やエコバスの利用方法をわかりやすく発信し、利用の動機づけを行い利用者数の拡大、新規利用客を獲得する。

・ 車内掲載物の充実

車内に掲載している企業広告や行政情報案内、利用方法案内を紙媒体だけでなく、車内モニター等の他媒体を利用し積極的な情報発信を行う。

・ バス停留所の利便性の向上

利用客が安心安全にバスを待つことができ、わかりやすいバス停留所を目指す。

・ スマートフォン定期券の導入

定期券の購入について、スマートフォンを利用した定期券を導入することで、利用者の利便性向上を目指す。

・ 公共交通の新規利用者拡大事業の実施

地域公共交通の新規利用客の開拓及び利用促進並びに市内経済の活性化に努めるため、運転免許証の返納者に対して、エコバスの乗車回数券 1,200 円分（100 円券 12 枚つづり）を配布する。

・ バスロケーションシステムとデジタルサイネージの向上

現在、コミュニティバスに遅延が発生した場合、職員が各バス停を巡回し、バス利用者に状況説明を行っている。現行ではリアルタイムに運行情報を提供できないため、令和 7 年 9 月より新規路線の試験運行と既存路線のダイヤ改正に伴い、新たなバスロケーションシステムの導入により、リアルタイムな情報を提供し、バス利便性を向上することが可能となる。

3-2 その実施主体

- ・ 恵庭市地域公共交通活性化協議会

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

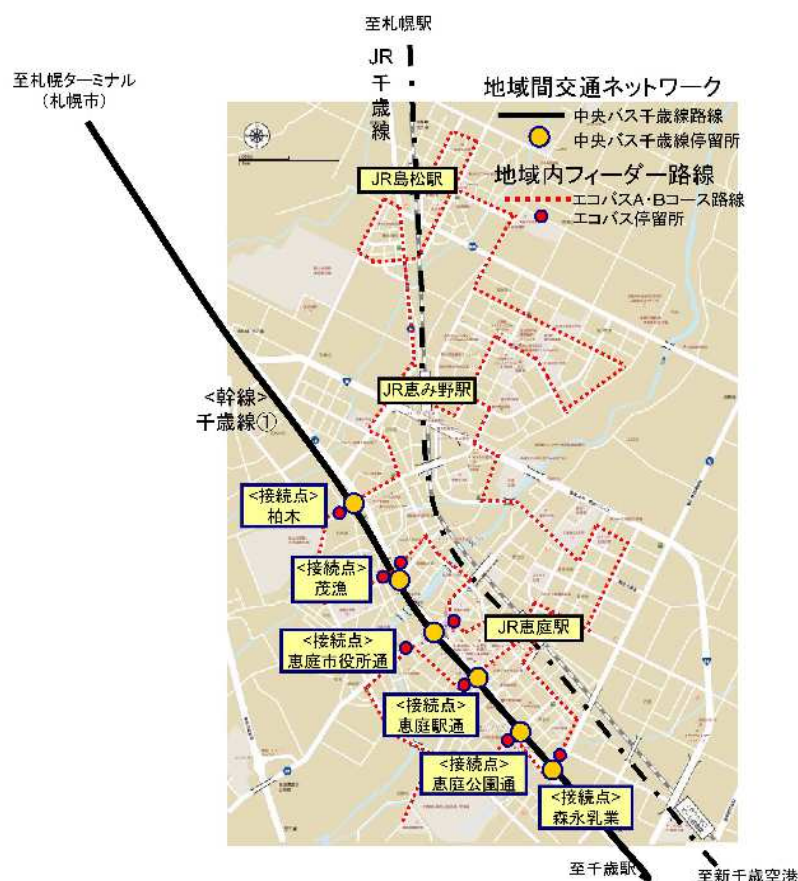
4-1 対象路線の概要

恵庭市内には、地域間を結ぶ交通として札幌市と千歳市を結ぶＪＲ千歳線及び、中央バス千歳線が運行している。ＪＲ千歳線は札幌市内まで結ばれており、中央バス千歳線は主に、札幌市営地下鉄東豊線に接続する福住駅と結ばれており、多くの恵庭市民が、通勤、通学、買い物、通院等のために利用している。

平成２２年１２月以前は、民間バス路線及び、えにわコミュニティバス３コースを運行していたが、平成２２年からの実証運行を経て、平成２４年に市街地をＪＲ駅及び、中央バスのバス停に接続しながら循環するコミュニティバス路線に再編している。

島松駅を出発し、島松駅に終着するという循環便となっているＡコース、Ｂコースのうち、補助対象地域幹線路線となっている中央バス千歳線に接続している循環系統の２系統を地域内フィーダー系統とする。（図９）

（図９） 生活交通ネットワーク路線イメージ



4-2 運行を確保する系統の概要及び運行予定者

別添「表１」のとおり

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額 恵庭市地域公共交通活性化協議会から運行委託事業者へは、運行経費から運賃収入及び、国庫補助金額を差し引いた額を委託料として支払うこととする。 費用の総額：165,633,287 円 負担額（恵庭市地域公共交通活性化協議会）：108,458,845 円
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法 詳細は、「恵庭市地域公共交通活性化協議会」において行うこととし、恵庭市公共交通計画 P87 に示す PCDA サイクルにより評価・検証を実施する。
7. 別表 1 の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
別添「表 5」のとおり
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし

(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
① 車両の代替による費用削減等の内容 ※該当なし
② 代替車両を活用した利用促進策 ※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

○令和6年度第1回恵庭市地域公共交通活性化協議会（R6.6.24）

- ・報告第1号 令和5年度歳入歳出決算報告
- ・報告第2号 令和5年度監査報告
- ・報告第3号 令和5・6年度の利用状況（エコバス・エコタク）
- ・報告第4号 令和6年度運行業者の決定について
- ・報告第5号 北海道中央バス千歳線恵庭市内の協議運賃期間の終了について
- ・議案第1号 令和6年度事業計画（案）
- ・議案第2号 令和6年度歳入歳出予算（案）
- ・議案第3号 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
- ・議案第4号 恵庭市地域公共交通計画の策定について
- ・議案第5号 エコバスの新たなルート・ダイヤ案の作成について
- ・議案第6号 エコバスのハイエースでの運行について
- ・議案第7号 バスマップ（時刻表・路線図）の作成について

○令和6年度第2回恵庭市地域公共交通活性化協議会（R6.10.23）

- ・報告第1号 令和6年度エコバス等の利用状況について
- ・報告第2号 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について
- ・議案第1号 令和6年度エコバス冬期便（恵庭南高校直行便）の運行及び事業者選考について
- ・議案第2号 令和7年度えにわコミュニティバス等の運行及び事業者選考について
- ・議案第3号 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（一次評価）について
- ・議案第4号 エコバス既存路線の改善等と新規路線の設置の検討について
（第1回エコバス路線検討分科会 検討結果）

○令和6年度第3回恵庭市地域公共交通活性化協議会（R7.1.30）

- ・報告第1号 エコバス新規路線のルート変更等の意見取りまとめ結果について
- ・議案第1号 恵庭市地域公共交通活性化協議会 協議運賃分科会の設置について
- ・議案第2号 エコバス既存路線の改善（案）について
- ・議案第3号 エコバス新規路線の設置（案）について
- ・議案第4号 エコバス既存路線の運行及び事業者選考について
- ・議案第5号 エコバス新規路線の運行及び事業者選考について

○令和6年度第4回恵庭市地域公共交通活性化協議会（R7.3.11）

- ・議案第1号 エコバス新規路線の一部ルート変更について

19. 利用者等の意見の反映状況

・ OD 乗降調査の実施

エコバス全路線全便において OD 乗降調査を実施。各停留所の利用頻度や乗車便の利用者ニーズを把握している。

・ 恵庭市地域公共交通連携計画策定に向けての意見収集

平成 21 年度策定の恵庭市地域公共交通連携計画について、住民アンケート、通勤通学アンケート、パブリックコメントの実施等により意見収集を行い、その内容を恵庭市地域公共交通活性化協議会で検討し、恵庭市地域公共交通総合連携計画を策定するとともに、実証運行を行った。

・ 第 2 次恵庭市地域公共交通総合連携計画策定に向けての意見収集

平成 28 年策定の第 2 次恵庭市地域公共交通総合連携計画について、平成 27 年度に市民の広場および地方創生交付金を活用した公共交通利用促進調査（利用者アンケート、公共交通不便地域アンケート、OD 調査）を行い、エコバスが抱える課題を明らかにした。

・ 平成 30 年度エコバス実証運行利用状況調査の実施

平成 29 年から路線・ダイヤ再編を実施し、平成 30 年 4 月から開始した実証運行路線・ダイヤの検証を行うためにエコバス利用者およびエコバス対象地域住民を対象としたアンケートを実施した。

・ 停留所、ダイヤの調整

利用者ニーズを反映し平成 31 年 4 月に恵み野南 1 丁目停留所、令和 3 年 4 月にはなふる停留所を追加した。

・ 令和 7 年 9 月より新規路線の試験運行と既存路線のダイヤ改正を行う。

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）恵庭市京町 1 番地

（所 属）恵庭市役所 生活環境部生活環境課

（氏 名）主査 浜野 晋輔

（電 話）0123-33-3131（内線 1181）

（e-mail）seikatsukankyou@city.eniwa.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記 2.・3. については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

議案 第4号

バスマップ(時刻表・路線図)の作成について

【これまでの経緯】

平成 28 年度からエコバスの時刻表・路線図(以下バスマップ)は協議会から(株)イエローポップを通じ作成依頼し、フリーペーパー「ちゃんと」で市内全戸配布を行った他、平成 28 年度は 10,000 部、平成 29～令和元年度は 15,000 部、令和 2 年度～令和 6 年度は 10,000 部を事務局へ納品させ、JR 各駅や公共施設などで随時配布し、広く市民に周知しています。

【本年度のバスマップの作成について】

本年度については、9月からの既存路線のダイヤ改正と新規路線の試験運行がはじまることから、新たにバスマップを作成します。

従前までのバスマップには、広告業者を掲載し、(株)イエローポップが広告収入を充て安価に作成することができていましたが、(株)イエローポップ側の都合により広告業者の募集が困難な状況でありますことから、本年度作成するバスマップには広告業者の掲載を見送りたいと考えています。

今後のスケジュールとしては、恵庭市が業者を選定し、バスマップを発注します。これは、エコバス運行に係る準備の部分までは、恵庭市の立場において実施するものとなります。

エコバス利用者アンケート結果

本調査は、既存路線の見直し、および新規路線の試験運行を9月1日より実施するにあたり、
『①乗継券の取扱い対象駅の拡大』、『②定期券の対象者拡大に関する区分変更』
の上記2点について、利用者の意見を伺うことを目的として実施しました。

【実施期間】

令和7年4月22日 ～ 5月21日

【アンケート方法】

- (1) 下記箇所に掲示したアンケートへのアクセスQRコードを利用し、スマートフォンより回答
・エコバス車内
・JR駅停留所5か所を含む乗降客の多い停留所計16か所
(2) 定期券販売窓口でのアンケート用紙記入

【回答者数】

計 419 名 (※内訳 (1) QRコード 407名 (2) アンケート用紙12名)

■質問1

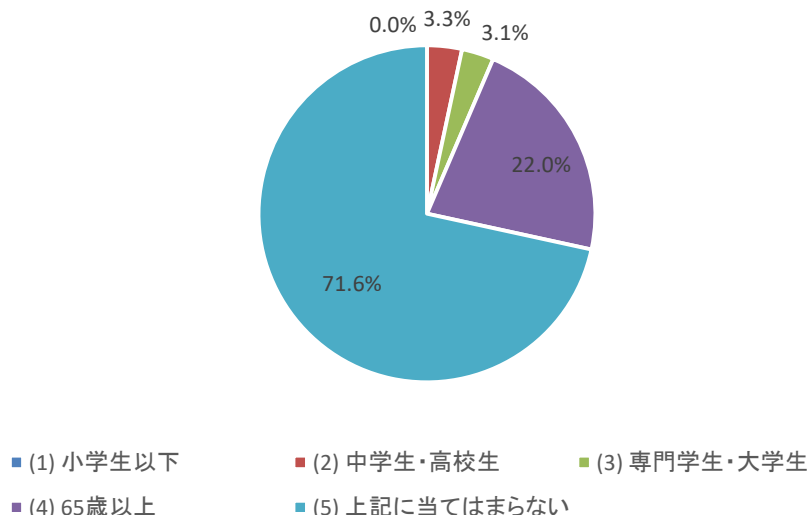
あなたの区分を教えてください

- (1) 小学生以下
(2) 中学生・高校生
(3) 専門学生・大学生
(4) 65歳以上
(5) 上記に当てはまらない

■回答1

回答	件数	割合
(1) 小学生以下	0	0.0%
(2) 中学生・高校生	14	3.3%
(3) 専門学生・大学生	13	3.1%
(4) 65歳以上	92	22.0%
(5) 上記に当てはまらない	300	71.6%
合計	419	100.0%

【1】あなたの区分を教えてください。



乗継ぎ場所の拡大について

皆さんのご意見をお聞かせください。

(1) 賛 成
(2) 反 対
(3) その他 ()
(4) 未回答

回答	件数	割合
(1) 賛成	398	95.0%
(2) 反対	6	1.4%
(3) その他	13	3.1%
(4) 未回答	2	0.5%
合計	419	100.0%



■コメント ※回答「(3)その他」

内容
利用していないので何とも言えません
乗り継ぎ可能になることのメリットがわからなかったです。
乗り継ぎしたことがないためわからない
使わないのでわかりません
自分は使うことがない乗り継ぎなので賛成も反対もないです
定期的なので意見はないです。
乗り継ぎ拡大のデメリットが分からないため。特になければ「賛成」。
賛成です。その他に希望、各コースの時刻表の色とバスの色を同じにして欲しい。バスも4色にするとお年寄りもわかりやすいと思います。
わかりません
どちらかでも良い
どちらでもいいのですが、恵庭駅までの道が遠回りのような気がしている。
日常的にエコバスを利用していますが、乗継券を欲しい旨をお伝えすると、あからさまにイヤな態度をとられたり、舌打ちをされる運転手さんがいます。怖くて乗継券購入を断念して乗り継いでいます。まずは運転手さんの態度の改善だと思います。

■質問3

定期券割引区分の拡大について

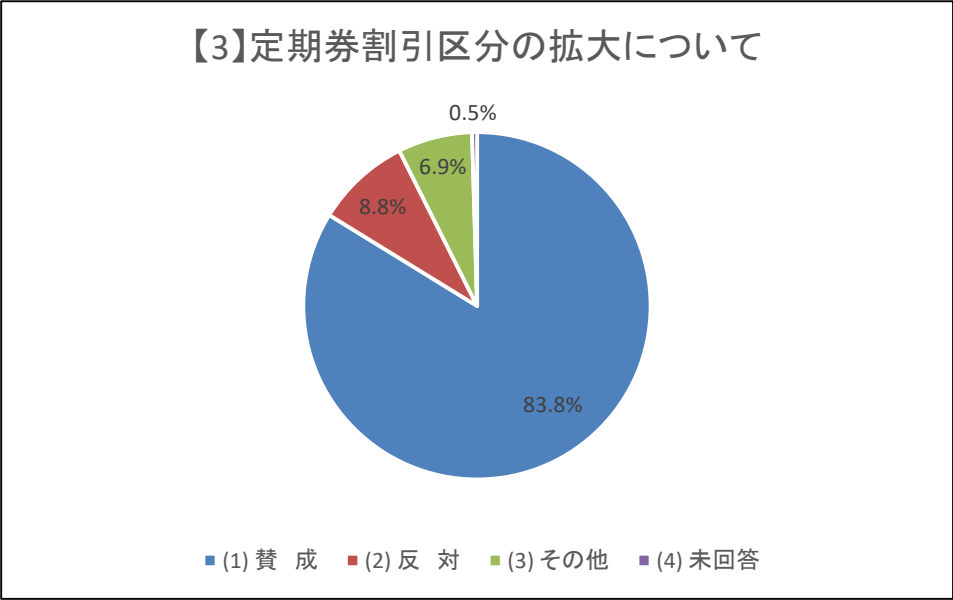
現在のエコバス定期券の区分は、「大人」「高校生・中学生・65歳以上」「小学生以下」です。
専門学生や大学生は「大人」の区分としておりますが、「高校生・中学生・65歳以上」と同額にすることを検討しております。
皆様のご意見をお聞かせください。

区分	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
大人	6,000 円	11,400 円	16,200 円	28,800 円
	(3,000 円)	(5,700 円)	(8,100 円)	(14,400 円)
高校生・中学生・65 歳以上	4,200 円	7,980 円	11,970 円	22,680 円
	(2,100 円)	(3,990 円)	(5,990 円)	(11,340 円)
小学生以下	3,000 円	5,700 円	8,100 円	14,400 円
	(1,500 円)	(2,850 円)	(4,050 円)	(7,200 円)

()…身体障害者手帳等を携帯している方、障がいの程度が身体第1種、療育A判定、精神1,2級の方に付き添う方。

■回答3

回答	件数	割合
(1) 賛 成	351	83.8%
(2) 反 対	37	8.8%
(3) その他	29	6.9%
(4) 未回答	2	0.5%
合計	419	100.0%



■コメント ※回答「(3)その他」

内容
定期は使わないから。
良くわからない。
回数券を無くして、定期券と現金のみの利用とすれば、バス乗車中の回数券の購入・身分証確認の負担軽減、時間短縮につながるのではないかと思います。
障害者の区分を無くして欲しい。付き添い等はなくとも生活できるが仕事は普通の方のように出来ないため収入が少ない方が多いのではないのでしょうか？またそういう方は手当も少ないと聞きました。
今後含め運賃全体に負担が増えないなら賛成。
札幌のように、もっと高齢者に寄り添った運行をしてほしい。利用者がいないから、停車場をなくすといった施策は非常にこまる。
採算が採れるなら賛成、いずれ何処かの路線を廃止したり他の料金を上げる事になるなら反対です
定期券があるからです。
65歳以上は、小学生以下と同じ金額にしてはどうかと思います。
学生への支援は大事で賛成。学生ではない若者勤労者は大人扱いになりますか？配慮の余地があるのでは？
どちらでも無い。
財政的に余裕があるのであれば賛成しますが、値引きしてまで大学と専門学校生が利用する見込みが少ないと思います。
高齢者の割引と大学生・専門学生についても割引を検討いただきたい。
大学生、専門学生の料金は中高生と同じにすることに賛成です。それよりも障害者の料金が半額に反対します。障害者を半額にしてるなら、学生も半額にして欲しいです。
それによって大人料金が値上がりしないのであれば賛成。
小学生、中学生、同額がいいと思います。
定期券は買わないので、どちらでもいいです。
大人定期なので意見はないです。
判断できない。
料金値下げに伴うデメリットの程度が分からないため、利用者目線では「賛成」。
成人の年齢に準ずるべきだと思う。学費も嵩むでしょうが、仕事をしながら学生も続けられる時代なので、社会全体の消費や収益等を考えると、若者にも社会の一員としての役割を果たして欲しい。
65以上の料金を通院や外出機会増加による健康寿命の促進のために小学生以下と同額に希望します。
わかりません。
どちらでもいい。
自分は当てはまらないのでどっちでもよい。
専門学生も学生なのになぜ4200円じゃないのかが疑問。